

目的別ショートカットまとめ(第44回)

【ファイル操作編】右クリックメニューやプロパティを表示するショートカットキー

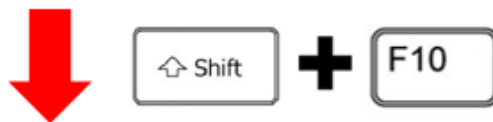
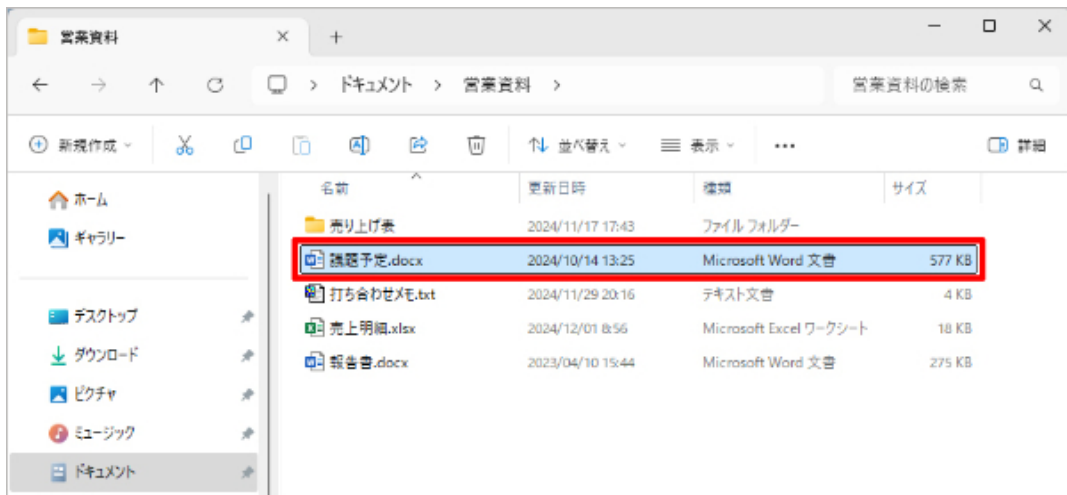
2025.01.24

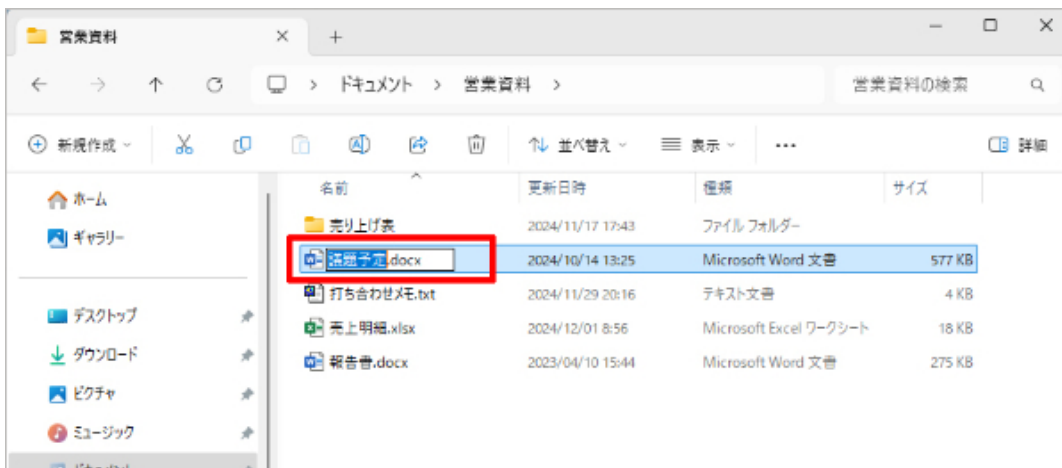
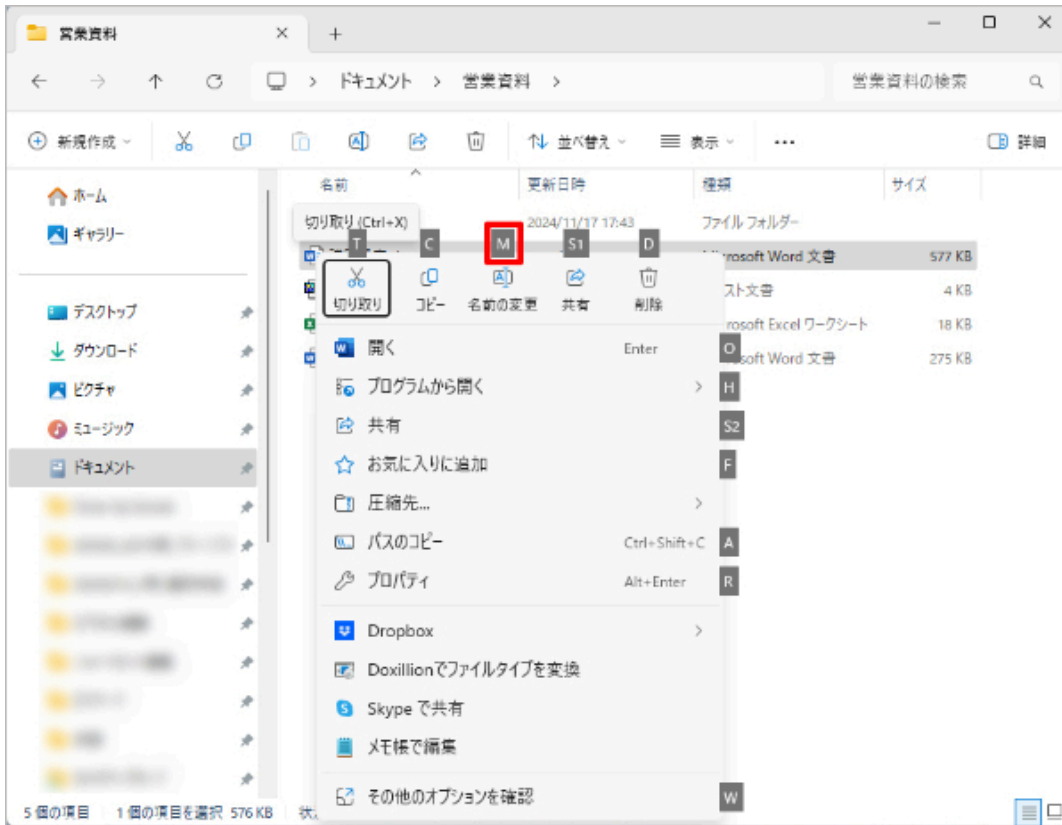
この連載では、仕事で使える便利なショートカットキーを紹介していく。今回は、エクスプローラーでファイルを右クリックしたときに表示されるメニューやプロパティをキー操作で表示する方法を紹介する。

右クリックメニューを表示する

エクスプローラー上でファイルを右クリックして操作する機会は多い。切り取りやコピーやショートカットでも可能だが、右クリックして実行することもあるだろう。また、現在関連付けられているプログラムとは別のプログラムで開きたいときは、右クリックメニューの「プログラムから開くー別のプログラムを選択」を使うこともある。

このようによく使う右クリックメニューがキー操作でできれば、非常に効率上がる。右クリックメニューを表示すると、さらにメニューにアルファベットが割り当てられているので、そのキーを押せば次の操作もキーだけでできる。





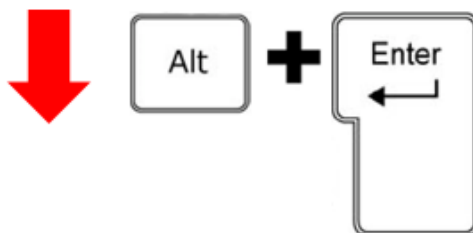
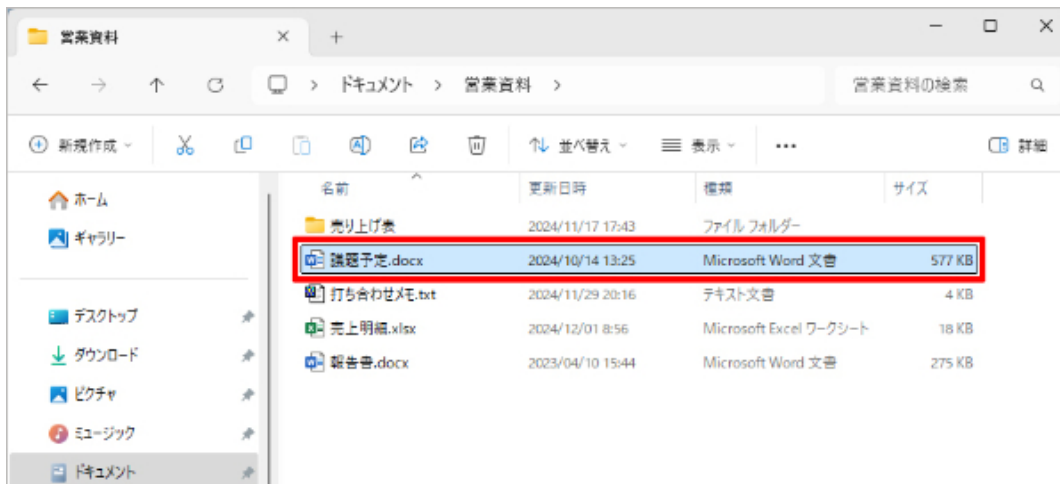
エクスプローラーでファイルが選択された状態で「Shift」+「F10」キーを押すと、右クリックメニューが表示される。メニューにはアルファベットが割り当てられているので、ここでは「M」キーを押してファイル名を変更する

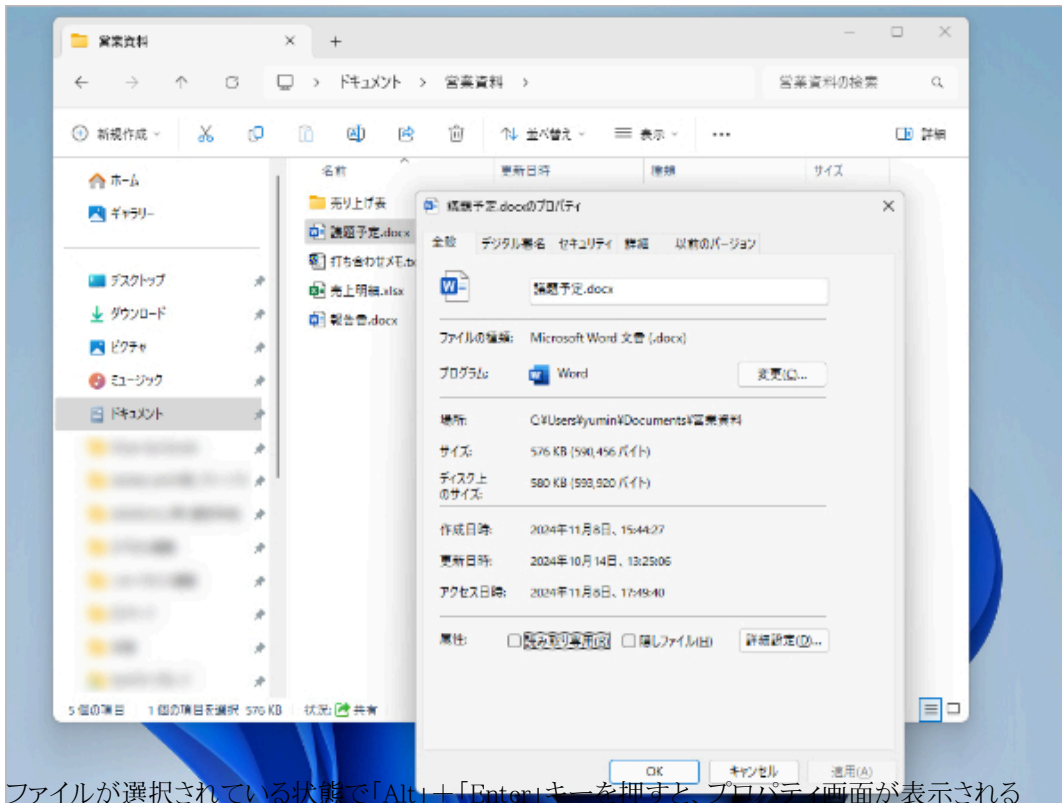
ファイル名部分が編集可能状態になったら、ファイル名を入力する。ファイル名を入力する前の操作もショートカットキーで

できると非常に効率がよい。

プロパティを表示する

先ほど右クリックメニューを表示するキー操作を紹介したが、そこで「R」を押せばプロパティを開くことが可能だ。しかし、右クリックメニューを開かずにプロパティ画面を表示するショートカットキーもある。





ファイルが選択されている状態で「Alt」＋「Enter」キーを押すと、プロパティ画面が表示される

リボンの表示、非表示を切り替える (Office 共通) … 続きを読む